

# kanamoto ■ カナモトエグザミネー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

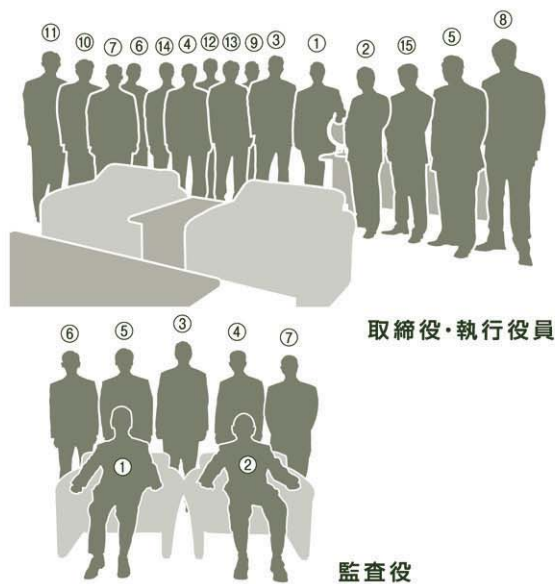


vol.51

第46期(2010年10月期)第1四半期号

## 役員のご紹介

第45回定時株主総会で選任された取締役ならびに監査役と、同総会終了後に開催した取締役会および監査役会において選任された代表取締役社長、常勤監査役、執行役員をご紹介します。





### ●取締役

① 代表取締役社長	金本 寛中*
② 取締役執行役員 経理部長	卯辰 伸人*
③ 取締役執行役員 営業統括本部長 レンタル事業部長	金本 哲男*
④ 取締役執行役員 業務部長	成田 仁志*
⑤ 取締役執行役員 レンタル事業部副事業部長 特販部長	平田 政一*
⑥ 取締役執行役員 情報機器事業部長 事業開発部長	北方 敬一*
⑦ 取締役執行役員 総務部長 社長室長	磯野 浩之*
⑧ 取締役執行役員 レンタル事業部北海道地区統括部長	金本 龍男*
⑨ 取締役執行役員 レンタル事業部東北地区統括部長	長崎 学*
⑩ 取締役執行役員 債権管理部長	麻野 裕一*
⑪ 取締役執行役員 海外事業室長	棕梨 直樹*
⑫ 取締役	門脇 克俊
⑬ 取締役	上谷内祐二

### ●執行役員

⑭ 情報システム部長	熊谷 浩
⑮ レンタル事業部 関東地区統括部長	問谷 悟

### ●監査役

① 常勤監査役	奥村 敏三
② 常勤監査役	澤田 紳六
③ 常勤監査役	金本 栄中
④ 監査役	橋本 昭夫☆
⑤ 監査役	辻 清宏☆
⑥ 監査役	大津 秀人
⑦ 監査役	直井 暁☆

(注1) \*印の取締役は、執行役員を兼任しております。  
 (注2) 門脇克俊氏及び上谷内祐二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 (注3) 監査役の橋本昭夫氏及び辻清宏氏及び大津秀人氏、直井暁氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。  
 (注4) 役職名は当社におけるもののみを記載しており、一部兼務役職を省略しております。  
 (注5) ☆印の橋本昭夫氏及び辻清宏氏及び直井暁氏は、東京証券取引所並びに札幌証券取引所等で定める有価証券上場規定等の一部改正による独立役員に、本年3月29日に指定されております。  
 (注6) 本年5月1日の人事異動で、長崎学氏はレンタル事業部関東地区統括部長兼務となり、問谷悟氏はレンタル事業部部長(九州地区担当)となります。

1Q 2009.11

KE50 IR カナモトのホームページをリニューアル  
 IR 平成21年10月期通期業績予想の修正並びに特別損失について発表



2009.12

KE50 IR 第45期(2009年10月期)決算発表  
 KE50 IR 【札幌】個人投資家向けIRセミナー IN 札幌に参加  
 KE50 IR 【東京】第45期決算説明会を実施(アナリスト協会)  
 IR 平成21年10月期の各期決算短信の一部訂正について発表  
 IR 剰余金の処分について発表  
 IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット」に出演  
 IR 第45回定時株主総会を開催



2010.1

2Q 2010.2

IR ナラサキリース株式会社、青森ナラサキレンタルの吸収合併について発表

IR タームアウト型リボルビング・クレジット・ファシリティを設定



IR IRフォーラム2010大阪に出展  
 IR 第46期(2010年10月期)第1四半期決算発表  
 IR 東証IRフェスタ2010に出展  
 IR カナモト夢の大3月祭を開催

3月16～20日の5日間、北海道地区空知ブロックと道北ブロックの各営業所合同で「カナモト夢の大3月祭」と称して中古アイテムの展示即売会を開催いたしました。

IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット」に出演  
 IR 【札幌】上場会社合同説明会に参加(札幌証券取引所)  
 IR 【札幌】個人投資家説明会を実施(日興コーディアル証券)

2010.3

IR 入社式/新人研修

IR サンクスフェア2010

釧路・北見(4/17、18)を皮切りにスタート



凡例 IR IR関係 IR 事業関係 IR イベント KE50 関連情報をカナモトエグザミネーターVol.50に掲載

※太字:本号4～5ページに関連記事を掲載

## タームアウト型リボルビング・クレジット・ファシリティを設定しました

去る2月10日、極度額150億円のタームアウト型リボルビング・クレジット・ファシリティ（以下、TO型RCF）を設定いたしました。TO型RCFとは、コミットメント期間内は融資枠内で資金調達および返済をフレキシブルに活用し、コミットメント期間終了時点における残高をタームアウト借入（長期借入）に移行できる契約のことです。当初は

短期金利での借入となるため調達コストは軽減されるうえ、タイムリーな調達を行うことで有利子負債を抑えながら手許現預金残高を適正に維持することが可能となります。また、激変する経営環境への対応、そして拡大する海外事業展開における必要資金のタイムリーな調達手法としても有効です。☑

### ■TO型RCFの詳細

融資枠設定金額:150億円／契約調印日:2010年2月10日／コミットメント期間:366日間(2010/2/16~2011/2/16)  
タームアウト借入満期日:2016年2月16日

アレンジャー	三菱東京 UFJ 銀行
コ・アレンジャー	三菱 UFJ 信託銀行、みずほコーポレート銀行
エージェント	三菱東京 UFJ 銀行
シンジケート団	三菱東京 UFJ 銀行、三菱 UFJ 信託銀行、みずほコーポレート銀行、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用農業協同組合連合会、農林中央金庫、七十七銀行、第四銀行

## 今期も積極的にIR活動を展開中です

ステークホルダーとの“対話”を重視し、每期IR活動に注力しているカナモトですが、第2四半期に入ってから精力的に実践しています。



2月21日のIRフォーラム2010大阪、3月5日・6日に行なわれた東証IRフェスタ2010の2つのIRイベントに出展しました。また、3月25日に札幌証券取引所主催の上場会社合同説明会に参加したほか、同月30日には日興コーディアル証券札幌支店で個人投資家説明会を開催。いずれの会場も大勢の個人投資家の方々にお越しいただきました。(10ページにIR



ブース内でのミニ会社説明会、セミナー会場でのプレゼンテーションはともに立見が出るほどの大盛況でした(写真上:IRフォーラム2010大阪/写真下:東証IRフェスタ)

フォーラム2010大阪で実施したアンケートの集計結果を掲載しています)

さらに、より広く情報発信をするためラジオ番組を通じた広報活動も展開しています。平日の夕

方に放送されているラジオNIKKEIの「夕焼けマーケット投資って楽しいね!」に、昨年9月に注目株としてカナモトを取り上げていただきましたが、本年1月と3月にも出演させていただきました。同番組のホームページには、過去の放送をポッドキャストでお聴きいただける「カナモトIR特集ページ(<http://market.radionikkei.jp/9678ir>)」を設けていただいております。櫻井・内田両キャスターの軽妙な会話がいつでもお楽しみいただけます。アクセスしてみてくださいね。☑



カナモトをPRさせていただいた夕焼けマーケットのスタジオ



## 新入社員27名を迎えました

4月1日、本社7Fホールで入社式を開催しました。本年は27名の新社会人が入社。社長の金本寛中から「カナモトにとって、無くてはならぬ人材に成長してほしいと願って止みませんが、そのためには楽しく学ぶことが一番大事なことでありと私は考えております。皆さんのご努力を期待しております」と訓示。

これに対し新入社員を代表して広域特需営業部配属の島村社員の答辞は「社長や諸先輩の言葉を胸に刻み、一日も早く戦力になれるように突き進みたい」。突き進む、頼も

いですねえ。

19日間の新人研修を経て、今後は配属部署で数々の経験を積みつつ、若人の持つ明るく新鮮な力を存分に発揮してくれることでしょう。

カナモトが迎えた、若く力強い新戦力にどうぞご期待ください。☺



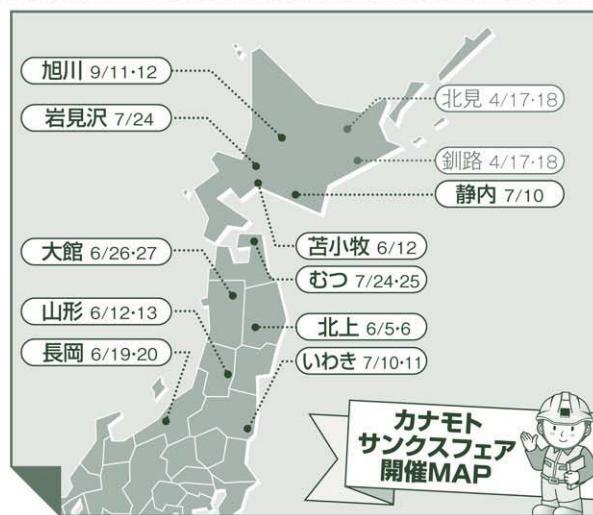
答辞を述べる新入社員代表の島村社員

## 今年も開催します! カナモトサンクスフェア2010

毎年各地の営業所で開催しているサンクスフェアが、今年も北海道を皮切りにスタート。初回は北見と釧路で、4月17日、18日にそれぞれ開催しました。4月中旬とはいえ、まだまだ肌寒さが残る道東での開催でしたが、多くの地元の方々にお越しいただきました。

このカナモトサンクスフェアは、どなたでもご来場いただけるイベントです。6月以降も各地で予定しておりますので、お近くで開催する際はぜひご来場いただきたく願いたします。開催日程や会場につきましては当社ホームページ ([www.kanamoto.co.jp](http://www.kanamoto.co.jp)) で逐次ご案内しています。☺

※開催日につきましては諸般の事情により変更する可能性がございます。当社ホームページでご案内する最新情報をご確認ください



## とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で50名様にノベルティグッズをプレゼントいたします。

前号に続き、本号のプレゼントも、グリーンマーカーです。オリジナル・ノベルティの品揃えが少ないんじゃないかのご不満の声が聞こえそうですが、実はそのとおりなんですけど、前号の反響もものすごく多かったです。ゴルファーにとってもこれからがよい時期、前号の選に漏れた方のために再出品した次第。台座は20gのゴールドバーにそっくりな、お金に縁がありそうなグリーンマーカー。ちなみに帽子はついていません。どうぞこの機会をお見逃しなく、ふるってご応募ください。

ご応募の締め切りは2010年5月28日(当日消印有効)です。  
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



## 第46期第1四半期決算の概況

[平成21(2009)年11月1日から平成22(2010)年1月31日まで]

### ●経営成績(連結)の進捗状況と業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
46期第1四半期	18,699(7.2)	1,666(149.0)	1,595(162.6)	853(-)	25.98
45期第1四半期	17,441(-)	669(-)	607(-)	△105(-)	△3.20
(参考)45期通期	63,863	137	△222	△1,158	△35.28
第2四半期連結累計期間 (予想)	35,200(8.0)	1,730(87.7)	1,510(90.2)	700(-)	21.32
通期(予想)	67,100(5.1)	1,150(737.5)	710(-)	110(-)	3.35

(注1)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、対前年同四半期増減率(%)を示しております。

(注2)45期は四半期報告制度の適用初年度であり、44期までと適用される会計基準や用語、様式および作成方法に関する規則等が異なるために対前年同四半期増減率は「-」を記載しています。

### 第1四半期の業績結果

2009年の建設工事年間受注高41兆7030億円(前年比17.4%減。国交省調査による)が物語るように、建設業界は極めて厳しい事業環境にあります。同業界に付随する建機レンタル業界も同様に、建設工事激減に伴って全国で競争が激化しており、当社グループの収益も大きな影響を受けました。当社としては、これらの価格競争に一線を引くべく商品差別化として、これまでハイブリッドトラックなどをラインナップしてまいりましたが、新たに昨秋投入したLEDバッテリー式投光機が好評で、他の建機レンタルにも波及、北海道・東北地区では地域シェアが伸長、それ以外の地域でも当社グループのシェアを確保するなど相応の効果がありました。

当第1四半期は、北海道地区が大きく業績を伸ばし、各地区の売上高減少分を補完する形となりました。なお、当期から海外で展開する上海金和源グループ(上海金和源設備租賃有限公司、上海金和源建设工程有限公司 本社:中国上海市)

とSJ Rental, Inc.(本社:米国準州グアム)、及び(株)カナモトエンジニアリング(本社:東京都港区)の計4社を新たに連結対象子会社としております。

また、中古建機販売は昨秋から世界市況は回復しておりますが、前期に引き続き、国内レンタルの収入強化と今後の資産投資の見極めを目的に海外向け中古販売は抑制基調になっており、この分の収益は縮小しております。

これらの結果、平成22(2010)年10月期第1四半期の連結業績につきましては、売上高が186億99百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

一方、利益面につきましては、営業利益は16億66百万円(同149.0%増)、経常利益は15億95百万円(同162.6%増)でした。また、四半期純利益は8億53百万円(前年同期は四半期純損失1億5百万円)でありました。



## 事業種類別セグメントの業績

### 建設関連事業

当第1四半期における建機レンタルの地域別売上高の売上高対前年同期比は、北海道地区では前政権による経済対策効果もあり、さらに提案型営業など強力な営業展開を実施したことで、レンタル単価の低廉化の影響を軽減化し、建機レンタル収入を大幅に伸長させたことで、対前年同期比は32.4%の大幅増となりました。東北地区も健闘しましたが、対前年同期比0.1%減に留まりました。関東、近畿中部の大都市圏では引き続き民間設備投資激減の影響が大きく、関東地区は羽田空港等大型プロジェクトによる上乘せ分があったにもかかわらず同10.4%減、近畿中部地区も同様に同6.8%減でした。九州沖縄地区は、北部・南部九州ともに補正予算の前倒し需要がありましたが限定的であり同15.5%減となりました。新たに連結に加わった海外子会社のうち上海金和源グループは中国インフラ投資の活発化により業績伸長著しく、相応の貢献となりました。

同事業分野における当第1四半期連結会計期間のレンタル売上の対前年同期比は9.6%増となりました。

このほか、同事業分野における当第1四半期連結会計期間の販売売上は、国内の建設不振並びに海外向け中古建機販売抑制

など販売収益の縮小要因が多くありましたが、北海道地区の大幅な伸長により、同1.4%増となりました。

これらの結果、建設関連事業の当第1四半期連結会計期間の売上高は175億83百万円(対前年同期比8.0%増)、営業利益は16億98百万円(同153.0%増)でした。

### 鉄鋼関連事業

北海道で展開する鉄鋼製品販売事業については、建機レンタル同様、経済対策の官需があったものの引き続き民需低迷の影響から、当第1四半期連結会計期間の売上高は9億65百万円(同8.3%減)、営業損失は12百万円(前年同期は営業利益3百万円)となりました。

### 情報通信関連・その他事業

情報通信関連事業については、パソコンレンタルが貸出期間長期化による期間収益の減少となり、中古販売が微増となったもののレンタル収益の穴埋めにはならず、当第1四半期連結会計期間の売上高は1億51百万円(同33.1%増)、また、営業損失は9百万円(前年同期は営業利益7百万円)となりました。

## 特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況

- (1) 当第1四半期連結会計期間における拠点の新設閉鎖はありませんでした。
- (2) 上述にもあるとおり、上海金和源グループ(上海金和源設備租賃有限公司、上海金和源建设工程有限公司 本社:中国上海市)とSJ Rental, Inc.(本社:米国準州グアム)、(株)カナモトエンジニアリング(本社:東京都港区)の計4社につきまして、当期から連結対象子会社としております。

## ■ 連結財務諸表

## 連結損益計算書

(単位:百万円)	第45期第1四半期 (2008.11.1~2009.1.31)	第46期第1四半期 (2009.11.1~2010.1.31)
① 売上高	17,441	18,699
売上原価	12,417	12,563
売上総利益	5,023	6,136
販売費及び一般管理費	4,354	4,470
② 営業利益	669	1,666
営業外収益	87	140
営業外費用	148	211
③ 経常利益	607	1,595
特別利益	22	50
特別損失	523	12
税金等調整前四半期純利益	106	1,633
法人税、住民税及び事業税	212	650
法人税等調整額	△55	79
少数株主利益	55	50
④ 四半期純利益	△105	853

## 連結キャッシュ・フロー計算書

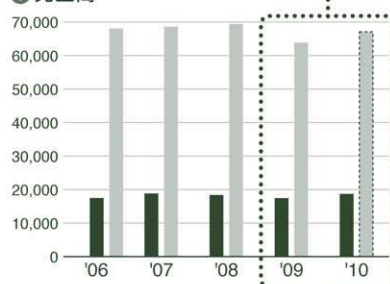
(単位:百万円)	第45期第1四半期 (2008.11.1~2009.1.31)	第46期第1四半期(累計) (2009.11.1~2010.1.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,697	1,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,359	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,137	25
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	0
現金及び現金同等物の増加額	3,475	1,887
現金及び現金同等物の期首残高	17,566	14,086
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	24	-
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	185
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,066	16,158

## 第1四半期のPoint

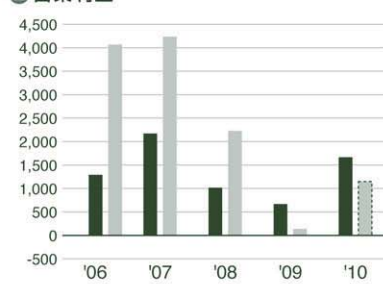
建設業界は厳しい事業環境にありますが、連結売上高は対前年同期比7.2%増となりました。北海道地区が大きく業績を伸ばしたこと、新たに連結に加わった海外子会社の業績伸長などが主な要因です。

■ 第1四半期 ■ 通期 予予想値 単位:百万円

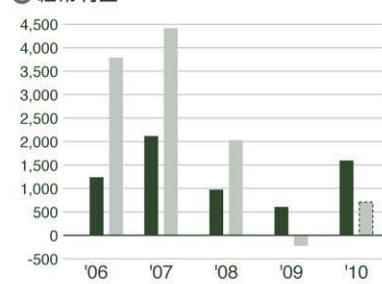
## ① 売上高



## ② 営業利益



## ③ 経常利益





## 連結貸借対照表

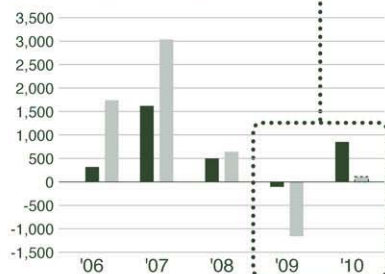
(単位:百万円)	第45期第1四半期 (2009.1.31)	第46期第1四半期 (2010.1.31)
(資産の部)		
流動資産	37,784	34,467
固定資産	61,034	70,367
有形固定資産	55,127	64,233
無形固定資産	717	810
投資その他の資産	5,189	5,322
⑤ 資産合計	98,819	104,834
(負債の部)		
流動負債	30,937	37,082
固定負債	30,153	30,330
負債合計	61,090	67,413
(純資産の部)		
株主資本	37,350	36,561
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	16,716	15,927
自己株式	△23	△23
評価・換算差額等	67	260
その他有価証券評価差額金	67	275
為替換算調整勘定	-	△14
⑥ 少数株主持分	310	598
純資産合計	37,728	37,420
負債純資産合計	98,819	104,834

### 第1四半期のPoint

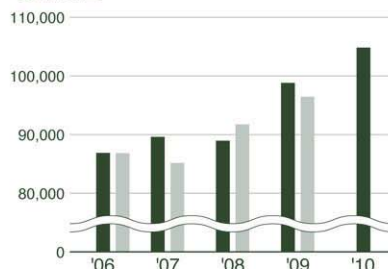
提案営業などを強力に展開し、建機レンタル収入を大幅に増進させたことなどで853百万円の純利益となりました。

なお、前年同期は特別損失として投資有価証券評価損484百万円を計上したことなどから105百万円の純損失でした。

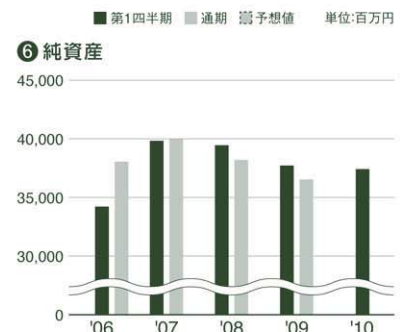
④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



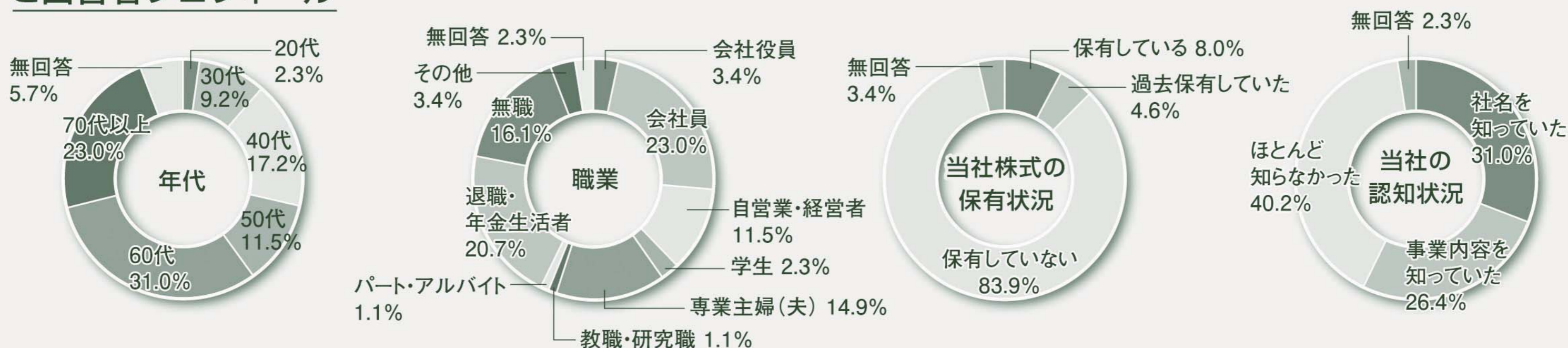


# IRフォーラム2010大阪 セミナーアンケート集計結果

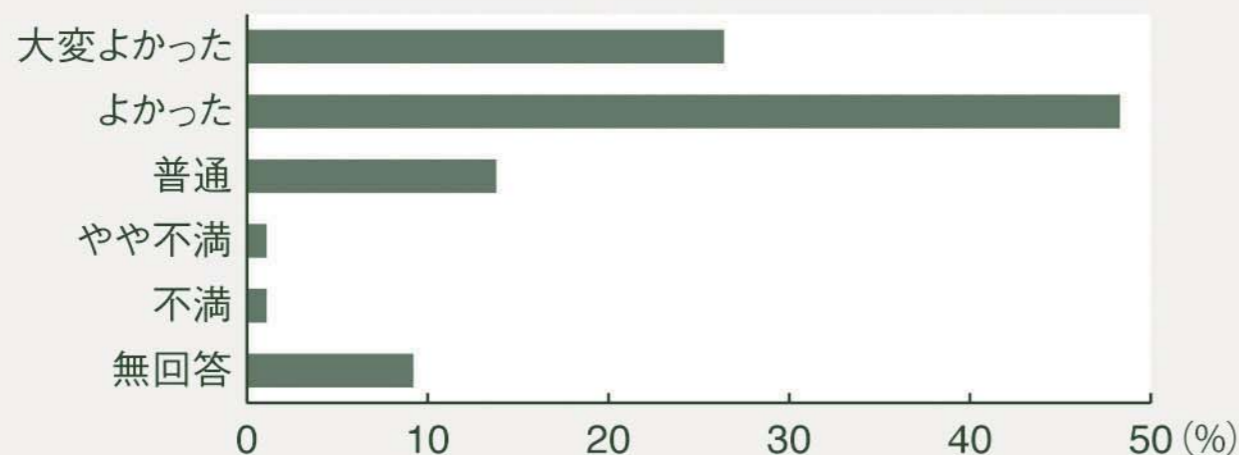
「IRフォーラム2010大阪」主催の“ツバルの森”さんによると、IRセミナーで経営戦略が高評価されることは稀であるとのこと。また、カナモトのセミナー参加者が非常に多かった点も含め、カナモトのIR活動は素晴らしいとの評価をいただきました。今回は“ツバルの森”さんがまとめられたアンケート結果をご紹介します。kca

[セミナー基本情報] 日時:2010年2月21日 14:00~14:35 / 会場:梅田アウラホール B会場 / 参加人数:88名(アンケート回答者数:87名)

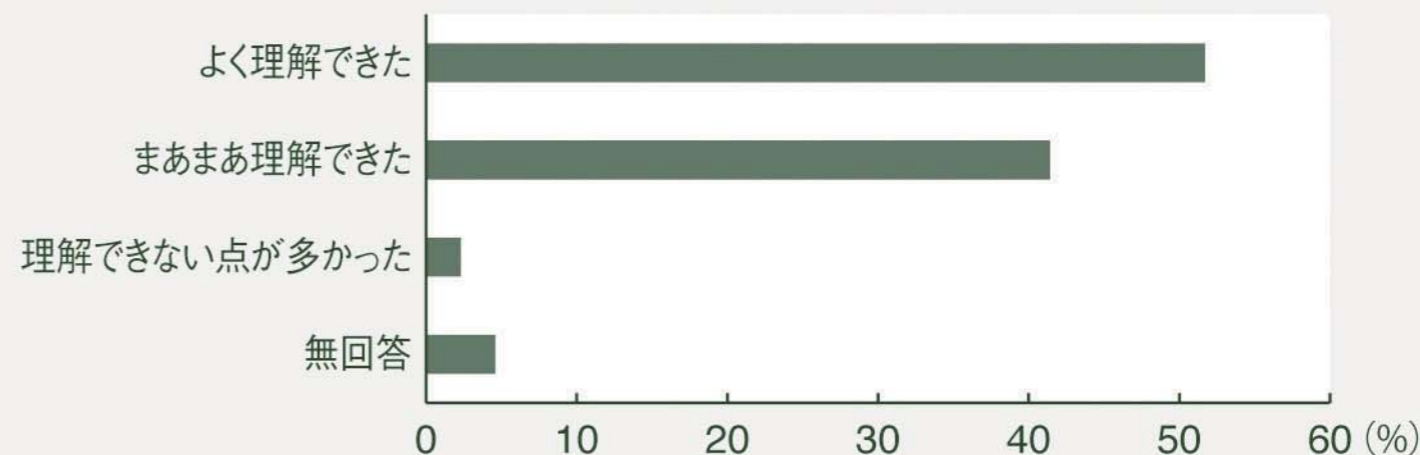
## ご回答者プロフィール



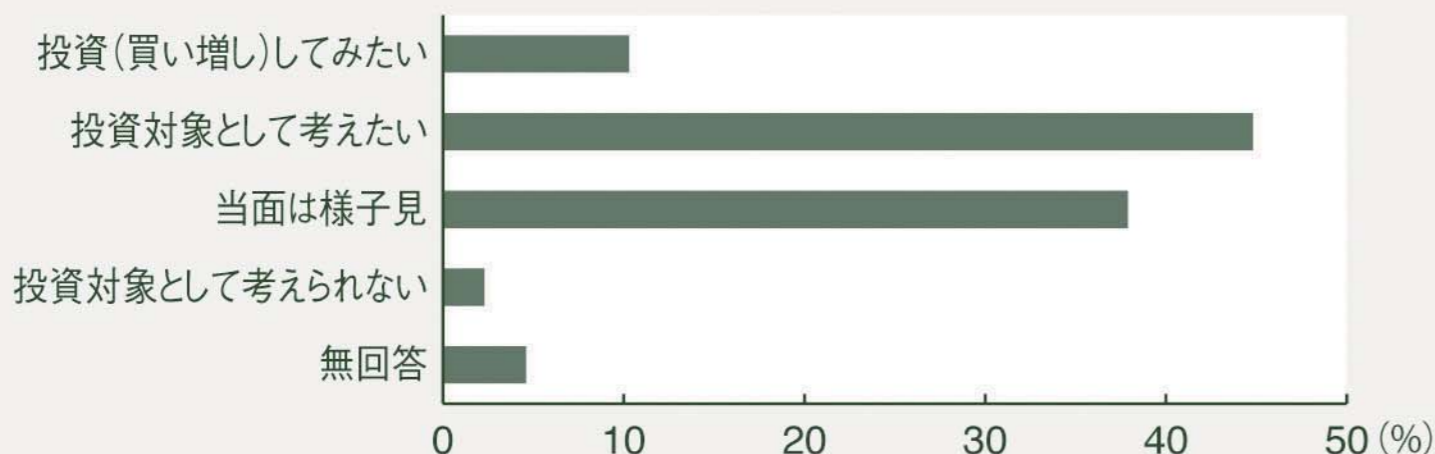
### Q1 セミナー印象はいかがでしたか?



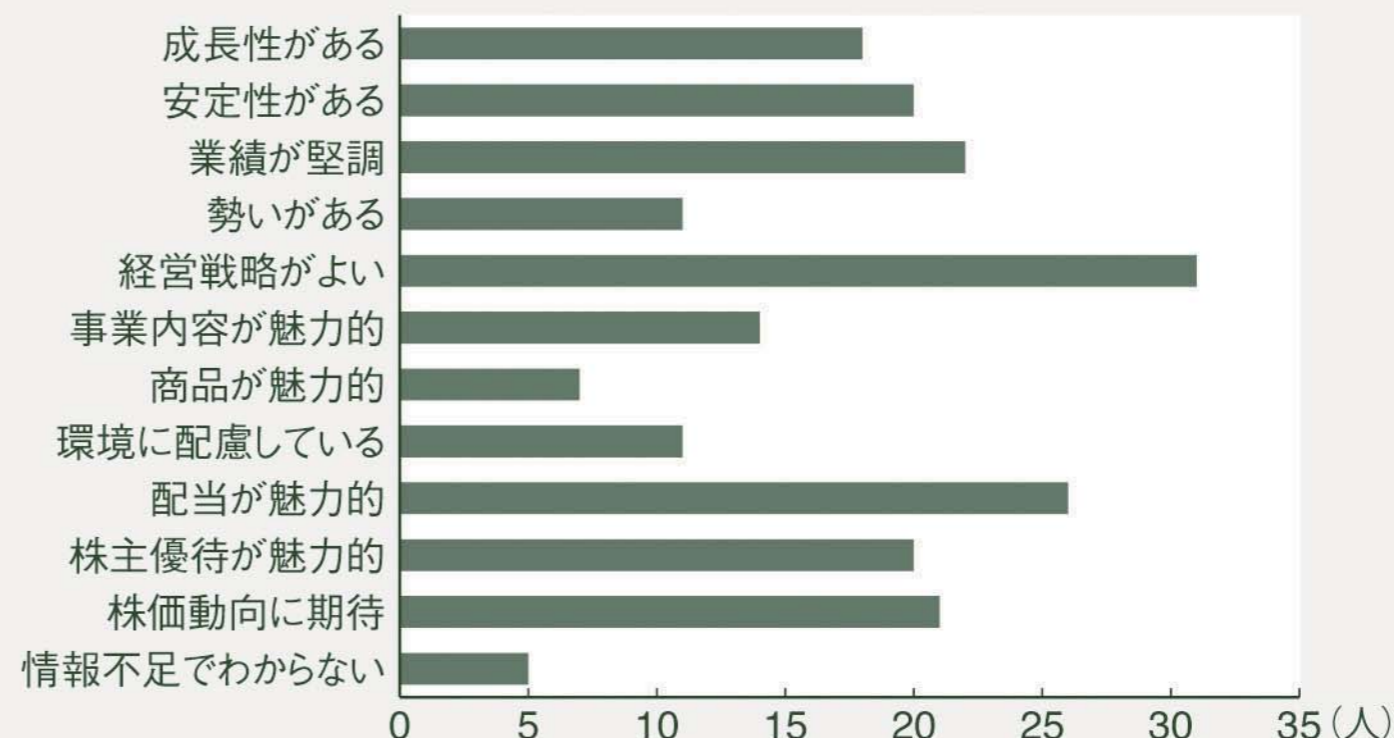
### Q2 説明内容はどの程度理解できましたか?



### Q3 当社に対する投資評価はいかがですか?



### Q4 当社に対してどう感じましたか?(複数回答)



## ■総評コメント

男性(50代)	海外(特にアジア)の営業ネットワークと将来性は非常にはよいと感じた(海外事業とその復調には期待がある)。	男性(60代)	成長性が期待できる新興諸国での売上について、(50億円と問わず)せめて全体の10%を目指してほしい。
男性(30代)	農機具のレンタルにも力を入れてもらいたい。その際の拠点は高速道のSA、PAに設置してもらいたい。	女性(40代)	説明していただいた担当の方のお話がとても上手で分かりやすかった。(売買単位を)1000株から100株にしていだけたらすぐ購入したい。
女性	(登壇者の)お人柄が良く、気持ちが伝わった。嘘のないセミナーが株主に正直で信頼できる。	男性(60代)	グローバル企業として捉えると成長企業にみえてきた。IRに熱心な企業なので応援したい。

数々の貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。次回のセミナーでは「大変よかった」という感想が大勢を占めるよう、一層努める所存です。kca



## 株価チャート (週足)



## 株価および売買高 (東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2009年4月	328	383	328	358	935
5月	363	429	362	416	625
6月	413	517	400	504	1,596
7月	484	500	459	490	1,149
8月	510	510	455	457	612
9月	457	458	389	416	878
10月	413	413	381	389	2,015
11月	380	383	308	319	850
12月	334	398	326	395	1,124
2010年1月	396	446	389	405	877
2月	405	426	389	397	626
3月	408	444	395	443	865

## 株主メモ (2010年2月1日現在)

資 本 金	96億9,671万円(払込済資本金)
発 行 株 数	32,872千株(発行済株式の総数)
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
公 告 の 掲 載	当社ホームページ、日本経済新聞*

\*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページ(<http://www.kanamoto.co.jp>または<http://www.kanamoto.ne.jp>)に掲載いたします。

なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同 郵 便 物 送 付 先 及 び 電 話 照 会 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)


### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様のご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。株主名簿管理人(三菱UFJ 信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
2. 証券会社の口座ではなく、特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ 信託銀行(連絡先左記)で承ります。なお、三菱UFJ 信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 郵送物の発送と返戻、取扱期間経過後の配当金に関するご照会は、三菱UFJ 信託銀行(連絡先左記)で承ります。

### ● 編集後記 ●

第1四半期の業績が好感されたか、はたまた、当社の海外戦略に成長の芽を見いだされたのか、株価が好調です。有難いことでもあります。

確かに、中国本土では、上海以外でも建機は引く手数多。香港もまた然りで、地下鉄に香港・マカオ大橋、海底トンネル等ビッグプロジェクトが目白押しです。他にも目を向ければ、2020年までにフィリピンからインドに至る東アジアで18兆円ものインフラ整備を行うという開発計画もあります。一方で、タイでは反政府デモが拡大しているなど、発展途上国には政治の不安定さというリスクも。やっぱり日本が一番と思いたいのですが、国民の希望とは何処かズレてる我が国の政治を顧みれば、悲しいかな、我が国も変わりないというのは口が過ぎますか。とにもかくにも、目先の人気取りじゃなくて、国の将来を見据えた政治を、手当よりも収入の拡大を、望む処であります。

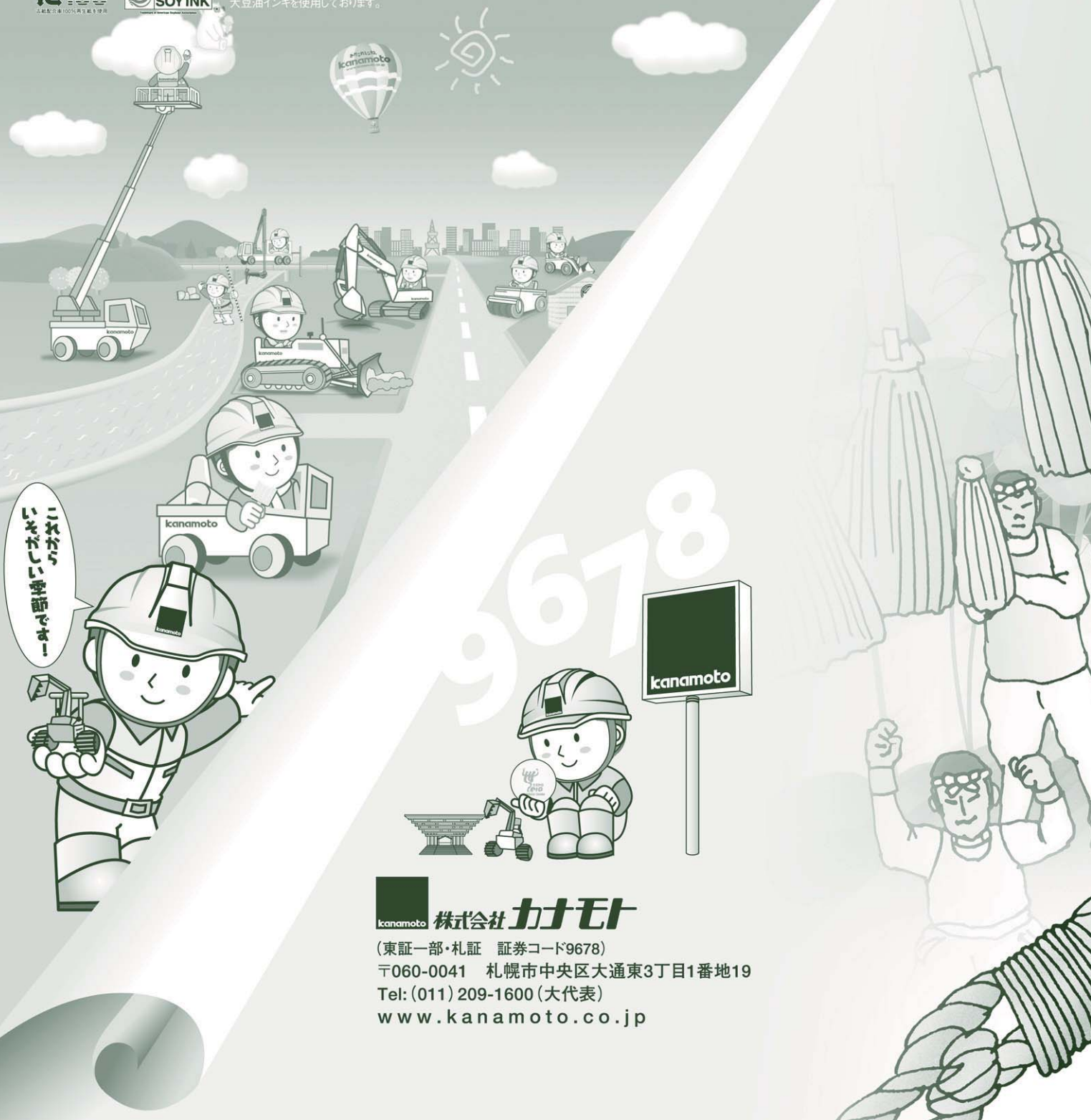
閑話休題(ホントは閑話じゃないんですけどね)。皆様のご期待に添うには当社の海外拠点、まだまだ足りません。頑張って展開を急ぎます! 



R100  
環境負荷削減100%再生紙を使用

PRINTED WITH  
SOY INK

本誌は、再生紙と  
大豆油インキを使用しております。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

[www.kanamoto.co.jp](http://www.kanamoto.co.jp)